

大会特集号

江東支部



墨田、江東、江戸川合同編集

東京土建一般労働組合
江東ブロック会議
江東区北砂1-11-4
TEL [3640] 2411
発行者 大勝友二
定価 30円
新聞代は組合費に含まれています

第64回支部定期大会 江東支部会館にて開催



新年度方針を決定した第64回定期大会

組織の力で、全丁場の賃金・単価を引き上げ 仕事と暮らしを守る運動を進めよう!!

第64回江東支部定期大会は4月7日(日)に昨年引き続き支部会館を会場に、支部役員・代議員・特別代議員・来賓あわせて120人が参加し開催しました。大会は昨年の運動総括、次年度方針・支部財政の予算・決算などを討議しました。午後から5つの分科会で各専門部の質疑討論を審議し、全体会では5分會から1日の質疑がありました。大会決議採択、議案採決、役員改選がおこなわれました。

大会は名越副委員長の告、小栗資格審査委員長 会桑原さん、大会書記にて、次年度に向けて志を司会者あいさつで開会が大会成立を宣言し、女性の高橋さんと大島 一つにしていきましよう。野田運営委員長より、次に議長団に小名木 分会高橋さん、そして諸役員を選出し、議事に入りました。委

員長あいさつ、大会書記にて、次年度に向けて志を司会者あいさつで開会が大会成立を宣言し、女性の高橋さんと大島 一つにしていきましよう。野田運営委員長より、次に議長団に小名木 分会高橋さん、そして諸役員を選出し、議事に入りました。委



大木委員長のあいさつ

大木委員長のあいさつ、大会書記にて、次年度に向けて志を司会者あいさつで開会が大会成立を宣言し、女性の高橋さんと大島 一つにしていきましよう。野田運営委員長より、次に議長団に小名木 分会高橋さん、そして諸役員を選出し、議事に入りました。委

大木委員長のあいさつ、大会書記にて、次年度に向けて志を司会者あいさつで開会が大会成立を宣言し、女性の高橋さんと大島 一つにしていきましよう。野田運営委員長より、次に議長団に小名木 分会高橋さん、そして諸役員を選出し、議事に入りました。委

大木委員長のあいさつ、大会書記にて、次年度に向けて志を司会者あいさつで開会が大会成立を宣言し、女性の高橋さんと大島 一つにしていきましよう。野田運営委員長より、次に議長団に小名木 分会高橋さん、そして諸役員を選出し、議事に入りました。委

2、3面に分科会報告

分科会報告の要約。①平和憲法を守るた、②地域運動の発展と共闘

《社会保障・税金対策・共済・文化活動》

閉会あいさつと団結カンパニーで閉幕いたしました。

①事業者に向けた相談活動の強化②公平な税制を求める運動③社会保障制度を守り、拡充を求める運動④建設国保を守り、仲間の健康を守る⑤組合総合共済の発展⑥文化活動の発展⑦マイナバー利用阻止と実務対策《組織建設など》

①組織基盤の確立と組織力強化②実像に向けた組織拡大③群の確立と事業所・未結集者対策④青年部活動の再構築⑤次世代の組合活動を担う後継者の発掘・育成⑥安定した財政運営⑦女性の会・喜楽会の発展と次世代へのサポート⑧教育・学習活動の強化⑨情報発信と宣伝活動

《平和憲法、地域運動》
①平和憲法を守るた、②地域運動の発展と共闘
続いて分科会を経た後、役員改選、新旧役員からのあいさつ、退任役員への記念品贈呈と進行しました。大会は予定した議事を終了し最後に方針に団結し運動を進めていこうと佐伯副委員長の閉会あいさつと団結カンパニーで閉幕いたしました。

各分科会の報告

第1分科会 社会保障・労働

第1分科会は社会保障 何かクオカードなりあげ 対策部と労働対策部と合 するのほどうか?とこいっ 同で行いました。

まず、社会保障対策部 デアなので部会等で検討 していく。また健チャレ 富樫常任から議案が読み 上げられ、後藤書記から 資料説明がありました。

質疑応答では「なぜ健 診受診率が悪いと考えて いるのか。具体的は受診 率向上の方法は?」との 質問に対し「受診券を使 った健診や、受診券を使 用せず健診を受けた仲間 合へ申請する呼びかけを 行うことで受診率を上げ ていく」との答弁。「家 族が健診受診をしたら、

何かクオカードなりあげ を進めてほしい」と答弁 しました。

「公営国保の広域化に 対して、どういった運動 で団結するのか」といっ た質疑に対し「駅頭宣伝 等で世論に意義を訴えた 上、議員への働きかけを 行い、採択を目指します」との答弁がありました。

「健診でアスベスト 補償基金の創設の採択に 向けて、どういった運動 に対して、どういった運動 等、早期発見のメリット 対策はできるのか」といっ た質疑に対し「アスベスト 疾患は完治ということは 無いが、悪化を遅らせる、 労災受診申請の準備等の 意義がある。社保対の健

「公営国保の広域化に 対して、どういった運動 で団結するのか」といっ た質疑に対し「駅頭宣伝 等で世論に意義を訴えた 上、議員への働きかけを 行い、採択を目指します」との答弁がありました。

「健診でアスベスト 補償基金の創設の採択に 向けて、どういった運動 等、早期発見のメリット 対策はできるのか」といっ た質疑に対し「アスベスト 疾患は完治ということとは 無いが、悪化を遅らせる、 労災受診申請の準備等の 意義がある。社保対の健



第一分科会のような

第2分科会 仕事・技術・賃金

第2分科会では、議長 中谷さんを選出し役員 6名、代議員11名、特別 代議員3名で分科会を開 催しました。

まず仕事対策部の議案 提案がありました。

質問は4名からあり、 「住宅デューの人集めにつ いて」「レスキューこう とうの具体的な計画」「設 計者の会の会員拡大につ いて」「住宅センター会員 拡大について」などが上 がりました。

包丁砥ぎ講習会など活 用して若い人へ協力を呼 びかける、また、防災に 対する計画は各団体とも 連携しながら取り組む。

各会員拡大についても、 分会のみならずとも推 進していく方針を専門 部として提案していく、 との答弁がありました。

次に技術対策部の議案 提案がありました。質疑 ではキャリアアップの 「賃対部との関わり合い は?」との質問に対しは 「一人親方について も、元請や上位会社に無 理な工期を押しつけない よう、労働環境や取引条 件の改善運動を進めてい く」との答弁がありまし た。

以上の答弁で労働対策 部の議案は承認されまし た。

の質問には「支部で受講 明がありました。

者リストの作成は可能」 質疑では「キャリアア ップの進捗状況につい て」回答いたしました。

次に賃金対策部の提案 て「事業所用の拡大資 料はありますか」の二点に あり、書記より資料説 明がありました。

「書記局長」

「書記次長」

「常任執行委員」

ついで「書記局の実務講 取りを行っている」との 習など着々と窓口開設に 経験報告がありました。 向けて取り組んでいる。 最後は書記より、設計 事業所用の資料と含め分 労働単価と法定福利費の 会四役学習会で説明して 説明がありました。

〔敬称略〕

〔執行委員長〕

大木 栄一 亀戸

〔副執行委員長〕

佐伯 克利 大島

野田 智文 砂中

名越 秀和 南砂

花岡 康雄 深7

大勝 友二 書記局

内藤 昇 書記局

後藤 哲哉 書記局

村瀬健一郎 書記局

菅野 元淑 亀戸

山田 幸延 亀戸

長谷川昭二 亀戸

富樫 康弘 大島

油屋 正孝 小名木

天沼 昭博 小名木

☆佐々木秀樹 小名木

山田 義友 東砂

鈴木 隆二 南砂

西川 貞治 深中

〔執行委員〕

五十嵐 忠 亀戸

根本 三男 亀戸

中田 大介 大島

高梨 雄一 大島

小栗 宏司 小名木

兼久 俊三 砂中

佐藤 光義 砂中

☆佐原 晶子 4砂

塚越 悟 東砂

高木 仁実 東砂

名越 伸和 南砂

佐藤 敏仁 深北

宮内 守 深中

志村 亮治 深中

斉藤 信行 深3

☆松島 敏夫 深7

☆小野瀬有香 深7

鵜澤 豊 事業所

井坂 厚視 事業所

小松 康宏 大島

松丸 圭司 砂中

黒田 勝 深北

☆は新任

来賓紹介

〔敬称略・順不同〕

松丸 一雄 (本部常任中央執行委員長)

松本 久人 (本部常任中央副執行委員長)

茂呂 裕一 (本部主任書記)

早川 智 (本部書記)

ご来賓の方以外にも国会議員の方をはじめ多くのメッセージをいただきました。ありがとうございました。

新役員一覧

分会表彰

☆動員の部

- 1位…深三
- 2位…小名木
- 3位…深七

☆署名の部

- 1位…四砂
- 2位…南砂
- 3位…小名木

☆ハガキ要請の部

- 100%達成
- 亀戸・大島・小名木・砂中
- ・四砂・深三

☆拡大の部

- 年間目標達成
- 亀戸・大島・小名木・砂中
- ・南砂・深北・深中・深七
- 年間目標達成十実増
- 小名木・南砂・深七
- 脱退率減少
- 深三



今年度もガンパロー！

第3分科会

組織・後継者・女性の会

第3分科会は議長に南砂分会の名越伸和さんを選出し、副委員長、常任2名、執行役員4名、代議員20名他2名、合計28名で開催しました。始めに後継者対策部の質疑提案、資料説明を行いました。質疑では「キヤンプはいい取り組み。参加者をもっと広めてみたい」という意見や、「企画を増やしては」という意見が出ました。「予算性」の会として訪問し、

第4分科会

厚生文化・財政・青年部

第4分科会は役員7名、代議員12名、特別代長に財政部は砂中分会の



第四分科会のような

佐藤執行委員、厚生文化は亀戸分会の根本執行役員が選出されました。はじめに財政部より議案提案がありました。2018年度総括では、未滞納者の取り組みについて報告がありました。方針では、健全な財政運営に向けた取り組みについて提案がなされました。質疑では還元金の扱いや支給のされかたについて質問があり、組織入金の扱いや条件があり、群長や分会役員を通して支部へ入金されたものに対して還元金が支給されると答弁がありました。2

最後に組織部からの議案提案、資料説明を行いました。また、分科会に参加した分会書記長からも意見を頂きました。質疑では分会常設センターについて、その設置の目的やメリットを分会でよく話し合ってみよう、と。メリットとしては、機関会議だけじゃない様々なイベントにも活用できること、そのために5万円の援助金を有効活用してほしいと答弁がありました。

018年度の給付件数や共済推進活動について報告がありました。方針では火災共済の加入推進を行っていくこと、各種共済制度の周知を進めていくと提案がありました。質疑では「ライカ34の給付件数が何件だったか」と質問があり、34歳以下の受講が少なく件数としてはあまりないと答弁がありました。技術センターで受講することを広めていくと部長より訴えがありました。地震共済で東日本大震災のような規模で地震があった場合、給付はどうなるのかと質問があり、基本的に給付は問題ないはずだが、詳細を確認し次回の執行委員会で報告すると回答がありました。

「アンケートの回収が少なかつた。訪問の重要性を感じた」との意見がでました。また、組合組織を維持していくためには若い世代の発掘が必要であること、群アンケートの結果にもあるように、りあえずやってみよう」との意見も出ました。後継者対策部、女性の会、組織部それぞれの議案書に対し、28名中28名の賛成にて可決されました。

第5分科会

税金経営・教育宣伝・喜楽会

第5分科会は役員5名、代議員16名、特別代議員2名、合計23名の参加でした。各議長に、税金経営対策部は東砂分会の高木執行委員長、教育宣伝部は東砂分会の塚越と方針について提案がありました。支部役員から核になる人物を探していきたいと訴えがありました。質疑では「毎年少し減税反対行動の参加者減少とエフエフ終了地点で待っている人がおり、意識が低下していると思う」という意見に「パソコンを使った電子申告の増加もあり、減少しているが、税金学習を通して意識を高めるようにしていきたい」と答弁しました。また「今年からスマホから確定申告が出来るようになったらそれについての学習会として、2023年度10月から導入予定のオンライン制度の学習会を開いてほしい」との質問に「必ず皆さんに分かりやすい学習会を開催します」と答弁しました。

退任役員のみなさん

おつかれさまでした

最後に3つの議案に対して採決をとり、参加者全員の賛成にて可決されました。

- 石川 信弘 執行委員 (四砂)
- 桑原 秀朗 執行委員 (深七)
- 森島 洋子 執行委員 (深七)



退任役員

分会リレートーク

二人の拡大活動隊

四砂分会は二人の拡大の活動家を紹介します。一人は前分会長の石川信弘さん。職人の合いが多く、気さくながら町会の役員と幅広い付き合いのなかで、拡大の時は仕事を休んで、夜は仕事現場を見つけては職人に声をかけてくれる。もう一人は分会四役補佐の佐藤みどりさん。以前は女性ながら、常任までやられた方です。佐藤さんも仕事のかたわら、昼間には建設現場を見つけては職人に声をかけたり、また

た面倒見のいい方なと友達も多いので、周囲に職人がいると声をかけ拡大してくれま



二人です。四砂分会 佐原晶子

2019年春の拡大月間実績表

毎週水・木曜は行動日！
強い分会・群組織を
みんなで作っていきましょう！

分会名	亀戸	大島	小名木	砂中	4砂	東砂	南砂	深北	深中	深三	深七	事業所	直属
拡大成果	6	4	10	2	2	4	7	5	4	1	5	16	2
4月雇用	4	1	10	1	3	7	4	2	3	7	2	7	2
4月成果	2	3	10	1	2	7	1	2	1	2	9	0	0
5月雇用													
5月成果													
拡大目標	9	12	7	11	5	14	11	8	11	5	9	22	15
(前期の残)	2	6	2	1	3	-3	3	3	-4	3	2	7	-1
1月人員	216	306	168	265	112	358	285	194	269	130	236	559	376
4月人員	212	297	164	264	106	364	282	179	277	126	234	560	371
人員増減	-4	-9	-4	-1	-6	6	-3	-15	8	-4	-2	1	-5

2019/4/26

超過達成
期間目標
4.0%達成

期間目標	163
拡大数	68
期間の到達率	41.7%
到達まであと	95
	1.96%

年間暫定目標	452
年間拡大数	131
年間目標残	321
年間拡大率	3.77%

68	合計
27	4月雇用
41	4月成果
0	5月雇用
0	5月成果

139	目標の計
24	(前期の残)
3474	1月人員
3436	4月人員
-38	人員増減



8名の持ちより、小名木分会

春の拡大出陣式を盛大に開催！

いよいよ春の拡大月間が始まりました。支部では4月17日(水)に分会四役学習会を開催。建設キャリアアップシステム、組合総合共済、健康診断受診奨励について学習しました。全体で45名が参加し、拡大行動で話題にして広めようという確認しました。

あくる日の18日(木)には砂町文化センターには、歴史に名を遺した。「愚行」を忘れたから、自らの死を覚悟することなく、自ら死を遂げること、ついに「象徴天皇」にはなり切れなかった。64年の東京大空襲の首謀者の一人であるカーチスへの勲一等の授与式をせめて拒んだ。72年の沖縄本土復帰を経て、78年の靖国へのA級戦犯合祀に反対したりしたが、国民の総意に基づき象徴に発した。人生は程遠いまま、人生を終えた。

平成の今上天皇が、「平和」を希求してこられた背景は、決して戦争の犠牲のみを「平和運動」に利用せず、天皇制の復古に繋がる

「象徴天皇は、国民の総意」

富岡八幡宮の境内の正面階段を上った右の授与所の更に先、百

「宮城遙拝」で「良い位置」と説明された。つまり、事ここに至っては敗戦致し方ない

「御野立所石碑」が動かしられました。1945年3月18日に昭和天皇が「空襲被害を視察

「御野立所石碑」が動かしられました。1945年3月18日に昭和天皇が「空襲被害を視察

「御野立所石碑」が動かしられました。1945年3月18日に昭和天皇が「空襲被害を視察

「御野立所石碑」が動かしられました。1945年3月18日に昭和天皇が「空襲被害を視察

「御野立所石碑」が動かしられました。1945年3月18日に昭和天皇が「空襲被害を視察

「御野立所石碑」が動かしられました。1945年3月18日に昭和天皇が「空襲被害を視察

江東区文化観光ガイドの会のお話

主観におびえながら「沖繩を犠牲にしてでも、朝鮮特需に助けられて、曲がりなりにも

主観におびえながら「沖繩を犠牲にしてでも、朝鮮特需に助けられて、曲がりなりにも

主観におびえながら「沖繩を犠牲にしてでも、朝鮮特需に助けられて、曲がりなりにも

主観におびえながら「沖繩を犠牲にしてでも、朝鮮特需に助けられて、曲がりなりにも

深七中尾正文